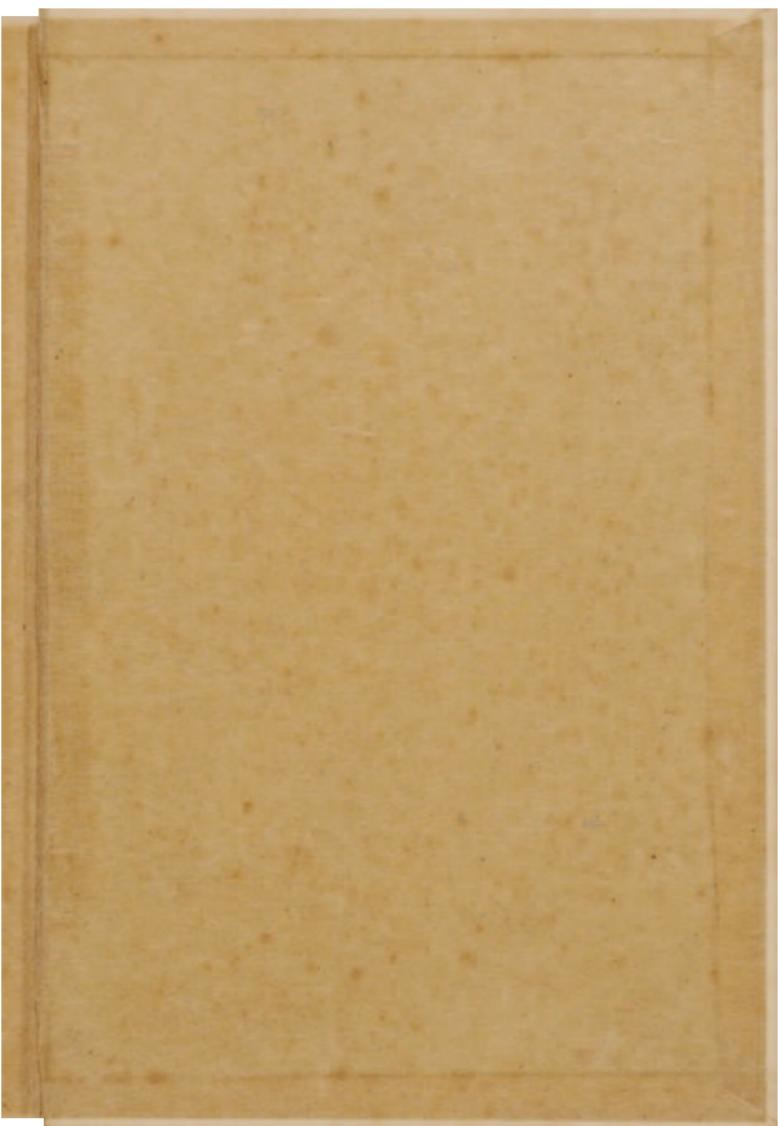




34. 小說灑東綺譚（私家版・澁井清宛獻呈署名入）

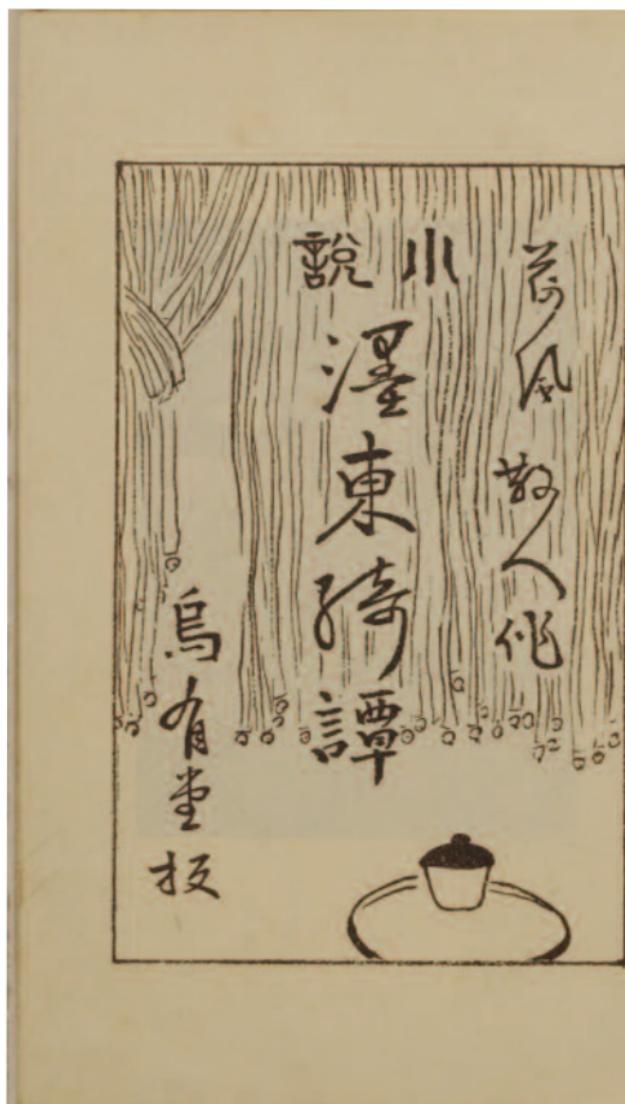
三四 小澤東綺譚  
(私家版・澁井清宛献呈署名入)



潤  
升清福  
永  
久

三四

小澤東綺譚  
(私家版・滋井清宛献呈署名人)



三四 小澤東綺譚（私家版・瀧井清宛献呈署名入）





里の名ふ人のさひなばしちらゆの玉の井深きそこといはまし

三四 小澤東綺譚  
(私家版・濫井清宛献呈署名入)

澤 東 紹 講

荷 風 散 人

一

わたくしは殆ど活動寫眞を見に行つたことがない。

おぼろ氣な記憶をなされば、少年のころ——明治二十四五年頃でもあらう。神田錦町に在つた貨店錦輝館で、サンフランシスコ市街の光景を寫したものを見たことがあつた。活動寫眞といふ言葉のできたのも恐らくはその時分からであらう。それから四十餘年を過ぎた今日では、活動といふ語は既にすたれて他のものに代られてゐるらしいが、初めて耳にしたものの方が口駆れて言ひやすいから、

三四 小澤東綺譚（私家版・瀧井清宛獻呈署名入）

残りもなく過ぎ去つてしまつたのだと思ふと、寂苦しかつた殘暑の夜の夢も涼し  
い月の夜に眺めた景色も、何やら遠いむかしの事であつたやうな気がして来る。  
年々見るところの量物に變りはない。年々變らない量物に對して、心に思ふところの感懷も亦變りはないのである。花の散るが如く、葉の落るが如く、わたくしには親しかつた彼の人々は一人一人相ついで逝つてしまつた。わくしも亦彼の人人と同じやうに、その後を追ふべき時の既に甚しくおそくな事を知つてゐる。  
晴れわたつた今日の天氣に、わたくしはかの人々の墓を掃ひに行かう。落葉はわたくしの庭と同じやうに、かの人々の墓をも埋めつくしてゐるのであらう。

(昭和丙子十一月脱稿)



三四 小澤東綺譚（私家版・濫井清宛獻呈署名入）







35. 永井荷風外遊時代ノ繪葉書





35. 永井荷風外遊時代ノ繪葉書



RELIANCE BUILDING.  
COR. STATE AND WASHINGTON STS. CHICAGO

ドオベラー左のハルシ  
ドアベラ、ニーダー、モ  
・他、薔薇有る  
出劇、及び仙人  
サランセスチ  
サランセスチ  
書書き下すれど、磨  
セレッソルセスチ  
主城をも  
演せり。テ  
ミセニコツ  
あゆは往す、  
三月二十、  
荷風

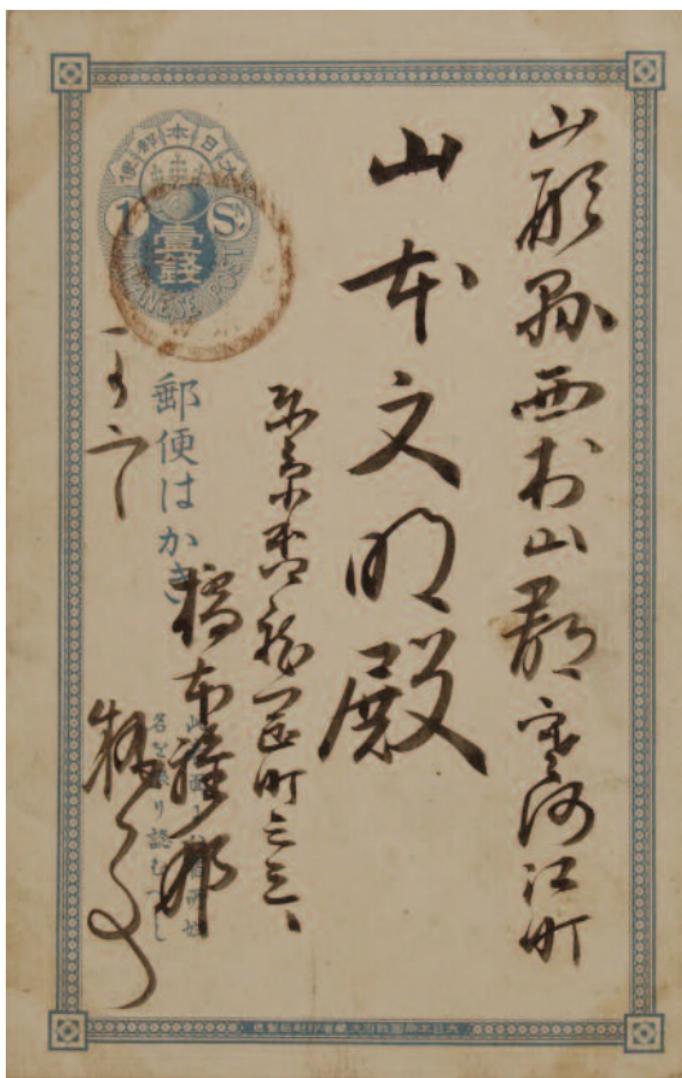
35. 永井荷風外遊時代ノ繪葉書



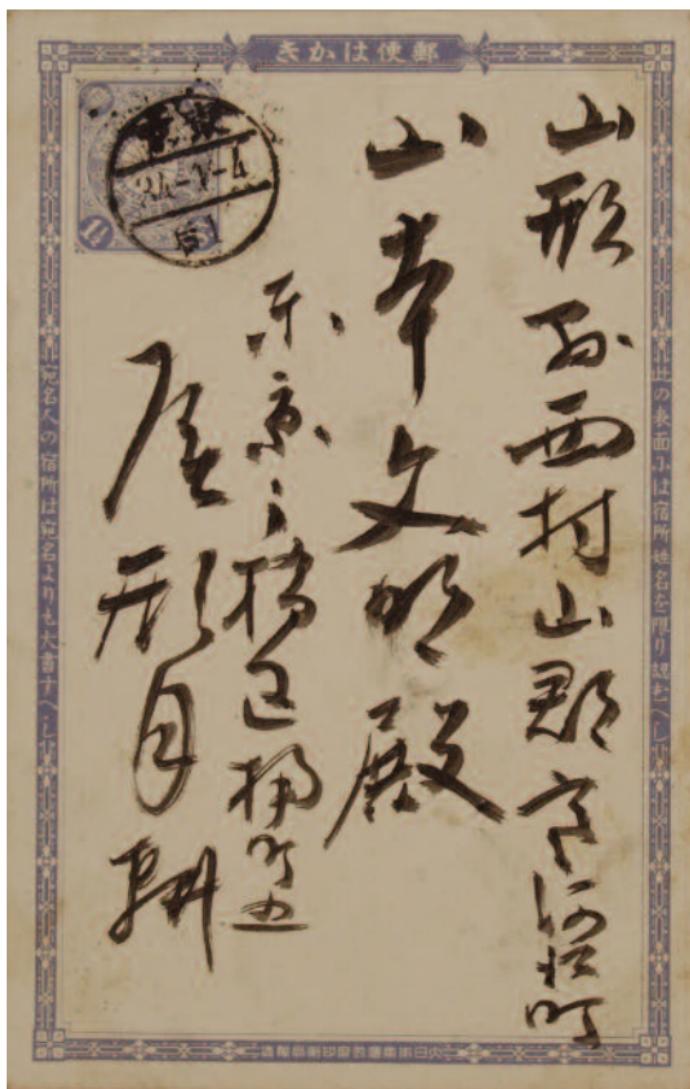
35. 永井荷風外遊時代ノ繪葉書



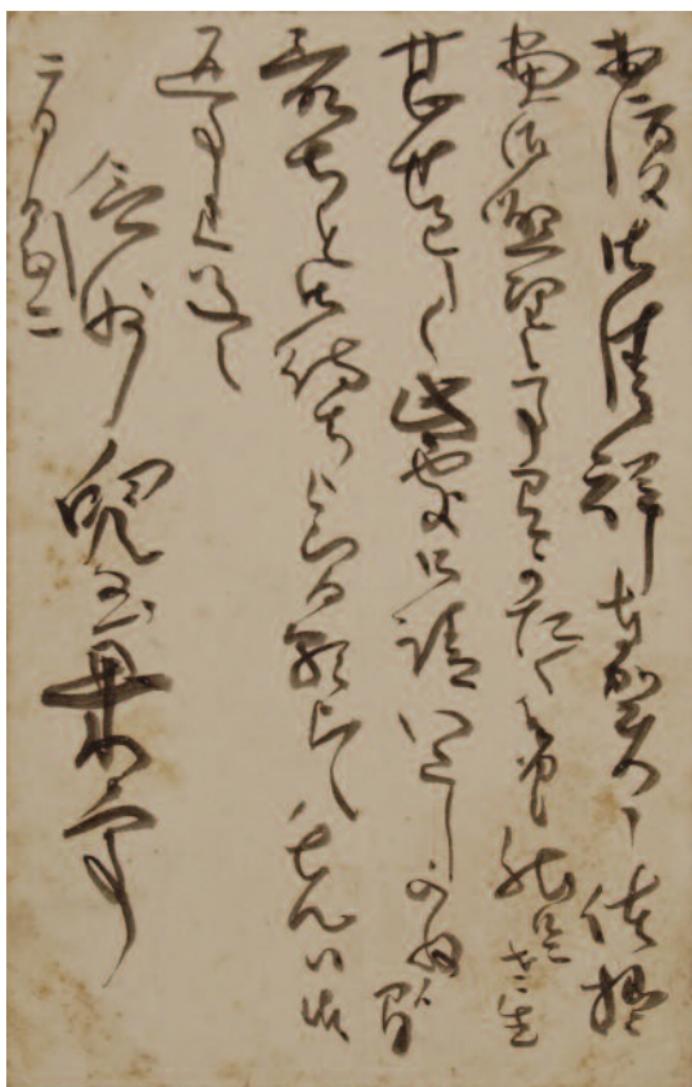
### 35. 永井荷風外遊時代ノ繪葉書



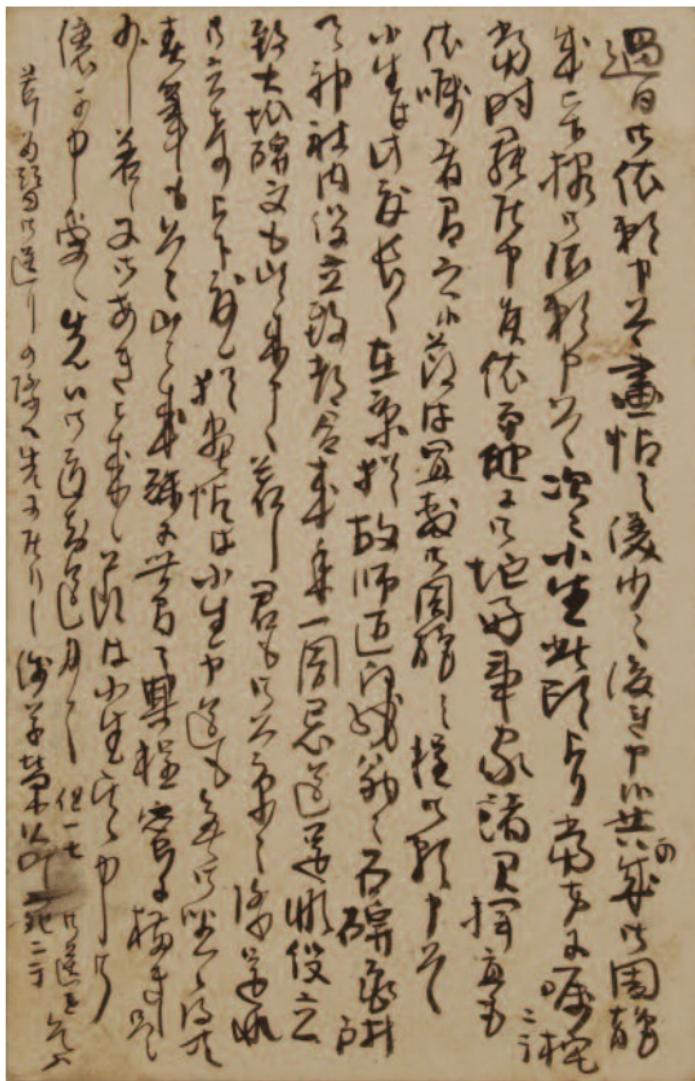
21.山本文明宛近代日本画家葉書



21.山文明宛近代日本画家葉書



21.山本文明宛近代日本画家葉書



21.山本文明宛近代日本画家葉書

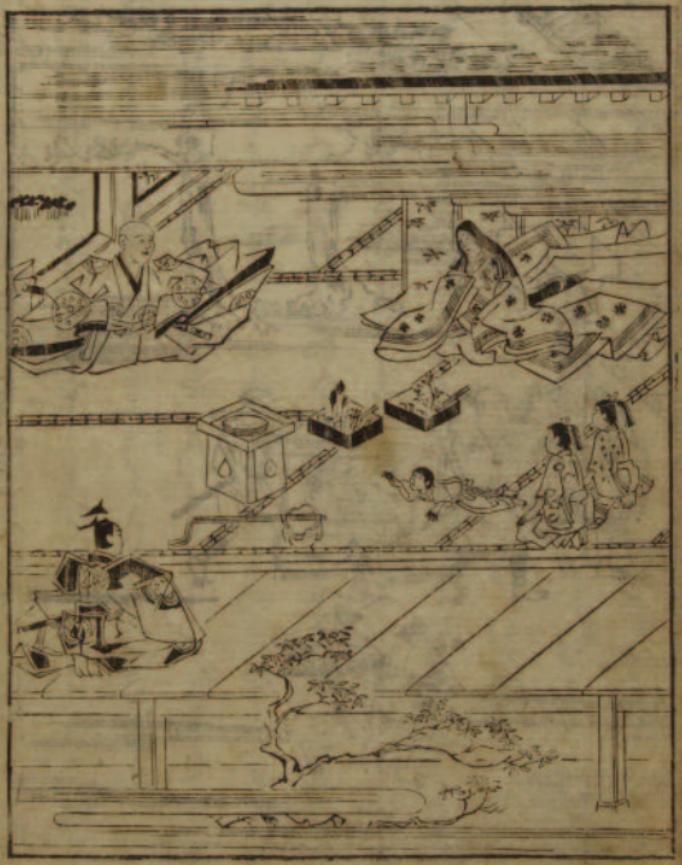


20.古代肉筆美人画浮世繪幅



1. 新板義經記（寛文四年刊）

一  
新義經記  
(寛文四年刊)





一 新義經記（寛文四年刊）



美濃平家の計より上り候ふ事

かましも永三年より上りて平家とむひを。一谷  
八幡さんの浦の患とつて。あこがれ方とくに浦よ  
平家と責められて。大内軍前の大内家威父子と  
生捕二千人ぐそくして上り。院内の見ゆるへ  
移去元暦元年小檢地遣使三位の尉上かり候。大内  
まじのり父とぐそくしておと遊よ付活ひ時拠  
所アタラ御友道とよ長友父子ぐそくしておと  
不收せ候のくはれぬあひゆれども利害の  
力と聲とくともあらうの事こそはと候ふ  
と。又吉の内せんよおのとひたうゑりん三位の

—新義經記（寛文四年刊）

わざとひきうつはまくひがうどく。居えよさん  
といきなむ。山ひきの事わりとす。かくと  
も下りて、船合に掛せ方へた奥川へ轍向と。  
キ十二年までをもあらでどく。とねづけふ  
九十日。うちよせあがれ多くさかね。やま  
ひびきをひいたや。下三百人をひと島山がひよ  
まれる。ゆきふきしんじゆく。これひとつとくに  
きばねとくらべぬ。おきり。奥道がまきのとくか。ま  
のけのあんあせこととまが。やとひしげ。三判友の  
せりゆき。うそもていくととくとじゆとじゆとうせ  
うけうめい。またやのまきをひじくとくとく。

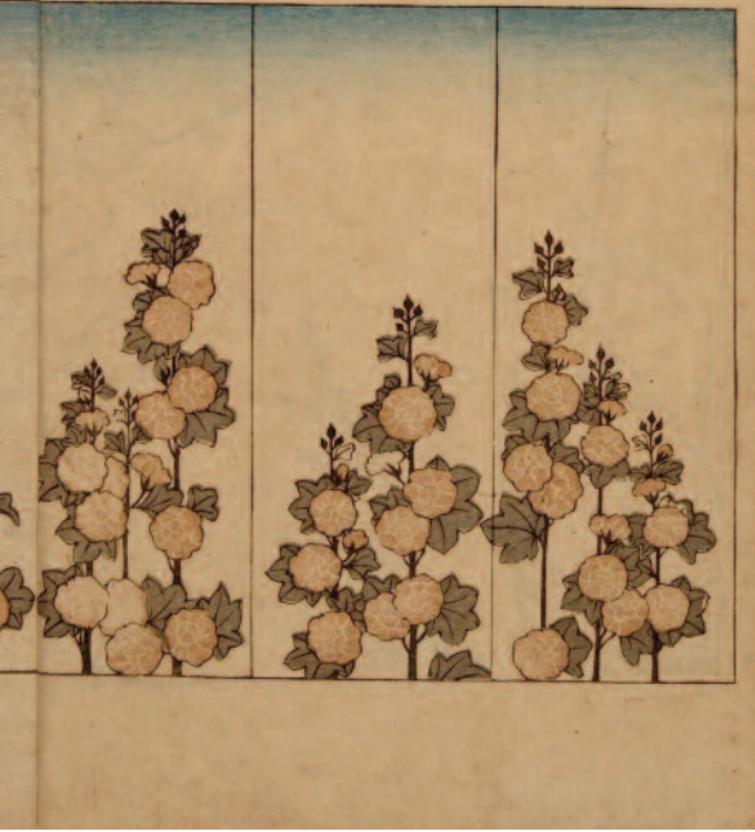


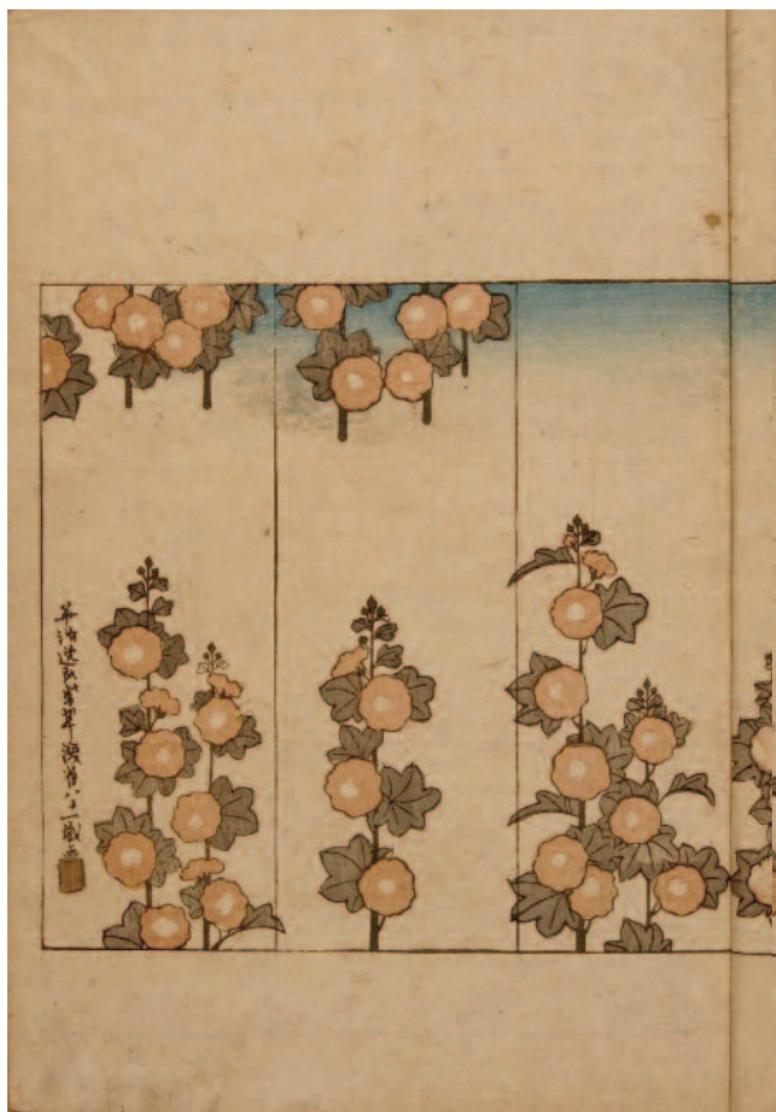
四 白狐傳（魚屋北溪画・享和四年刊）

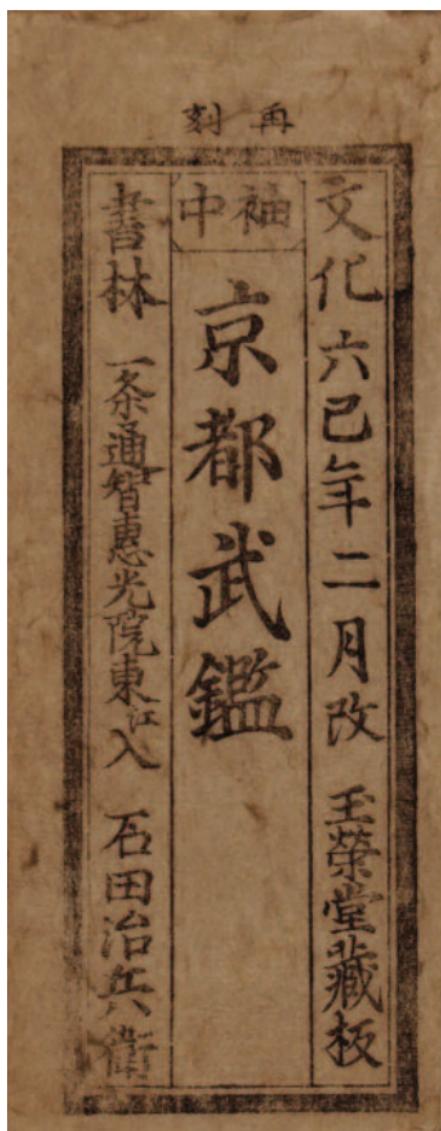




一八 乾山遺墨  
(酒井抱一編・高畠藍泉舊藏本)





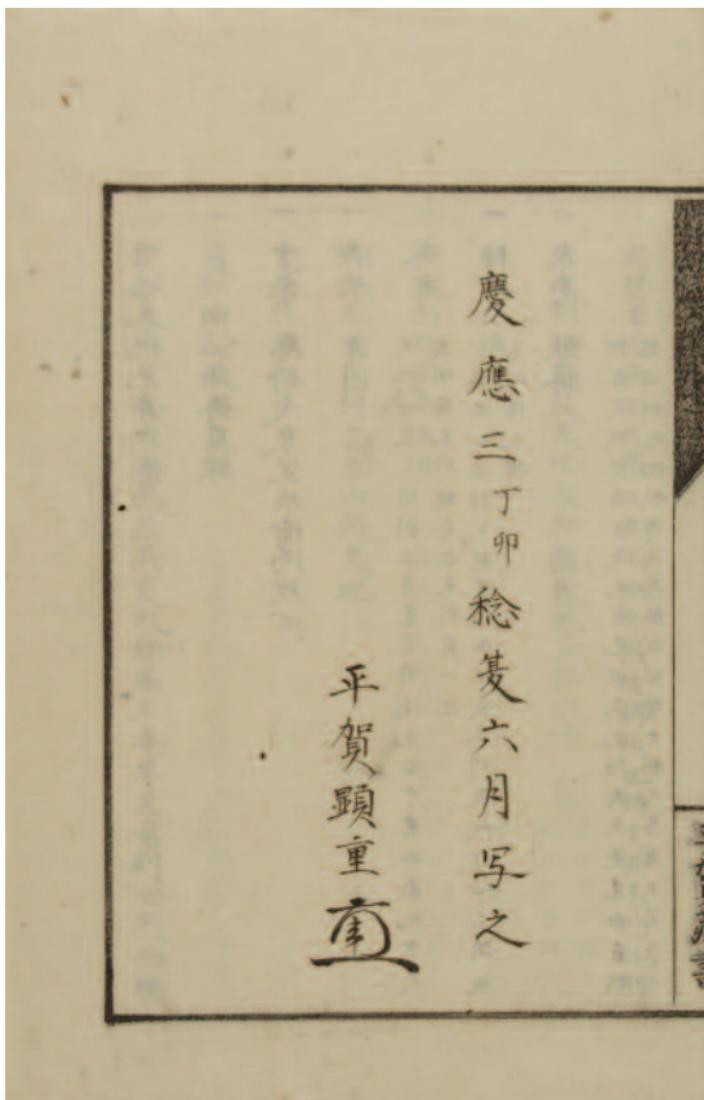


44. 袖中京都武鑑

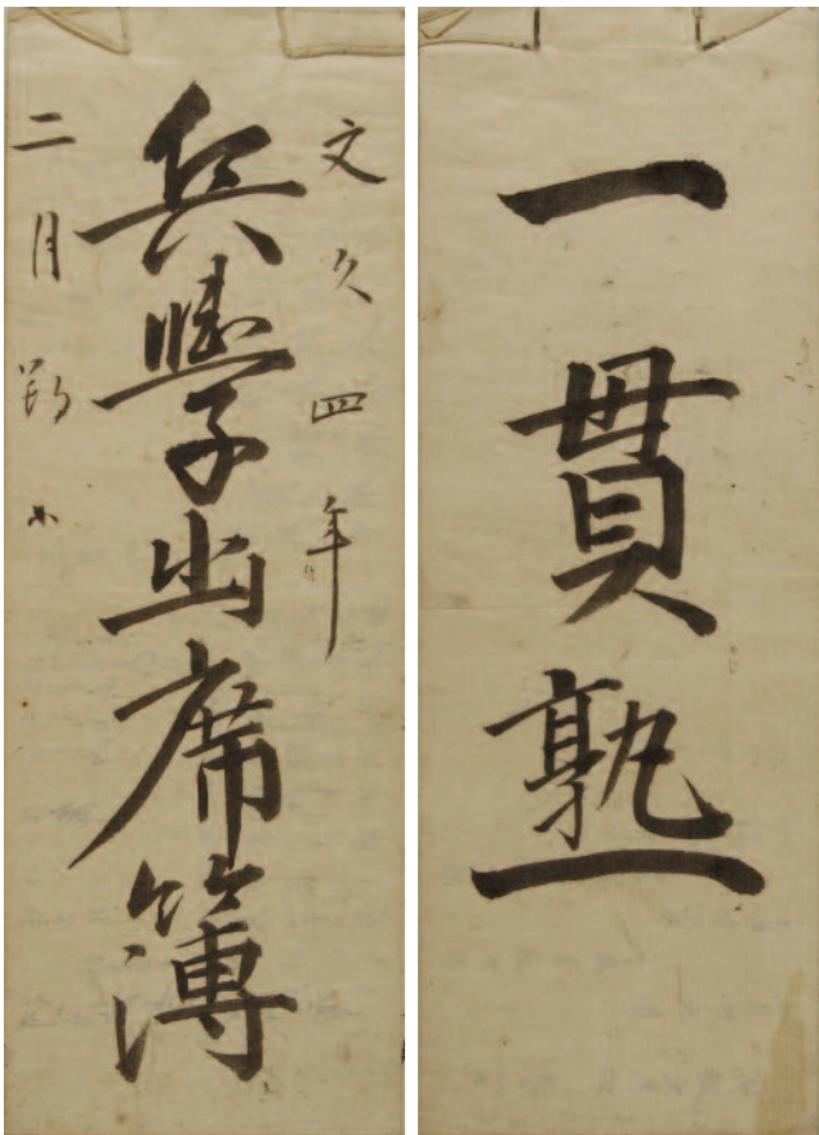


*The Chilkahoming*

New York, 21 August 1868. A. T.

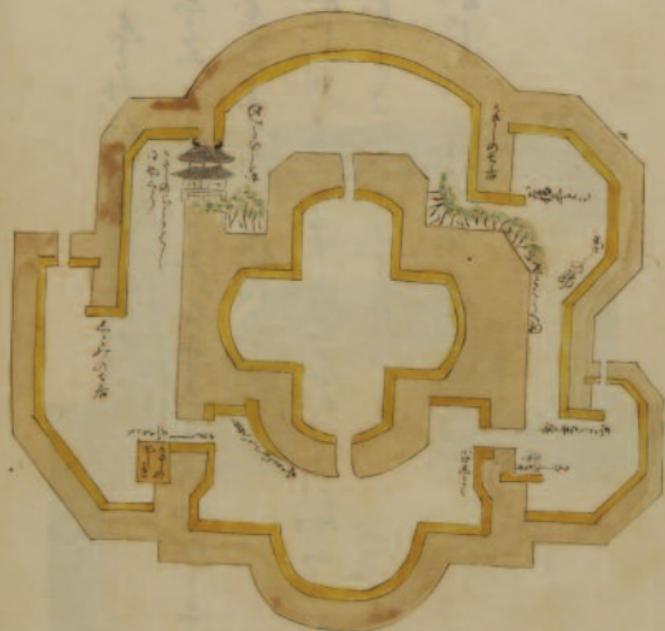


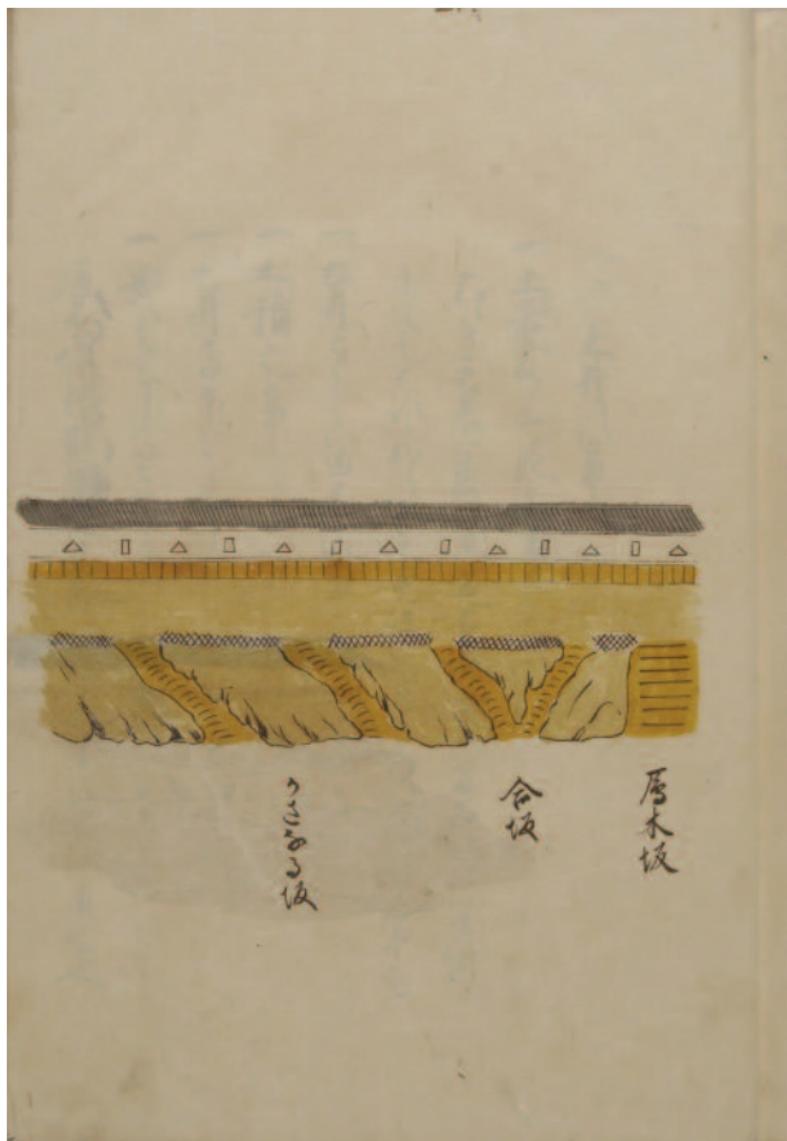
36. 平賀顯重自筆兵法文書



36. 平賀顯重自筆兵法文書

三六 平賀顯重自筆兵法文書







58. 江崎禮二製寫眞（淺草奥山・明治前期）



58.江崎禮二製寫眞（淺草奥山・明治前期）



58.江崎禮二製寫眞（淺草奥山・明治前期）



58.江崎禮二製寫眞（淺草奥山・明治前期）



58.江崎禮二製寫眞（淺草奥山・明治前期）



58.江崎禮二製寫眞（淺草奥山・明治前期）



58. 江崎禮二製寫眞（淺草奥山・明治前期）



東京府立圖書館蔵

58. 江崎禮二製寫眞（淺草奥山・明治前期）



58.江崎禮二製寫眞（淺草奥山・明治前期）



美空道場開業記念

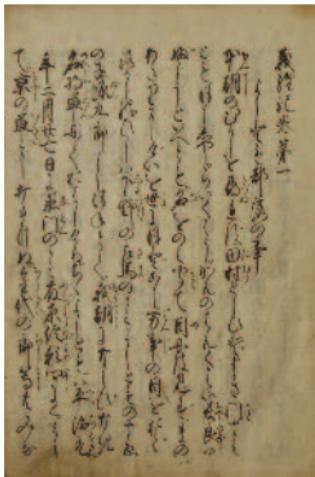
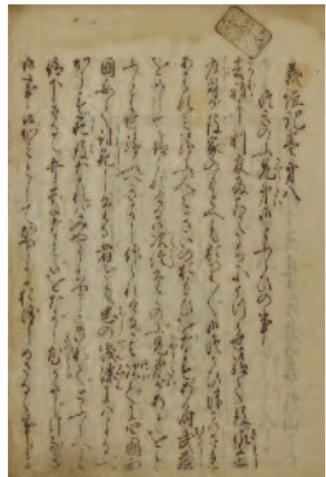
58.江崎禮二製寫眞（淺草奥山・明治前期）

新義經記 八卷

寛文四甲辰仲冬吉旦 大八冊 二七〇、〇〇〇

寺町誓願寺前／西村又左衛門板行。第八卷ノミ題簽欠。第一卷ノ插繪一  
丁ノ下方少シ欠損アリ。第五卷ノ插繪ノ下隅虫損ニヨリ僅力ニ欠損、前  
後數丁ニ僅力欠字アリ。第七卷ノ插繪一／三ホド欠損アリ。墨ツキ。

一二五〇三一頁參照









二

正徳三年年代記新繪抄  
癸巳改正年  
全五卷ノ内（卷一・二・五）

題簽擦レ 正徳三年刊 第五卷末尾虫損

中三冊 一六、二〇〇



三

淡海縣物語 卷一・四 (全五卷ノ内) 簡文化五年刊  
| 内題 「近江縣物語」 六樹園飯盛自序編

半二册 二一、六〇〇



四 白狐傳

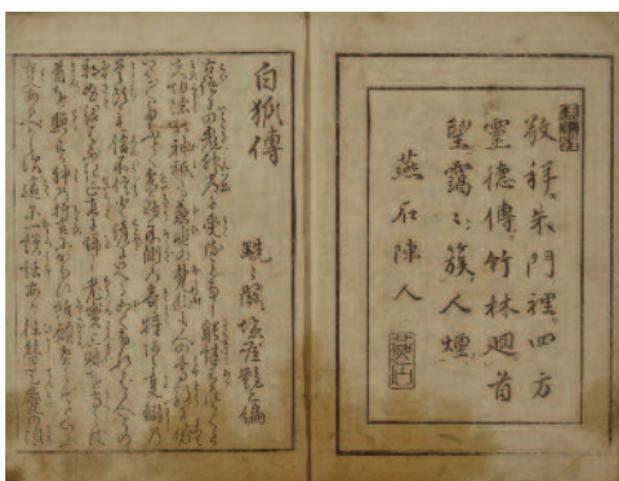
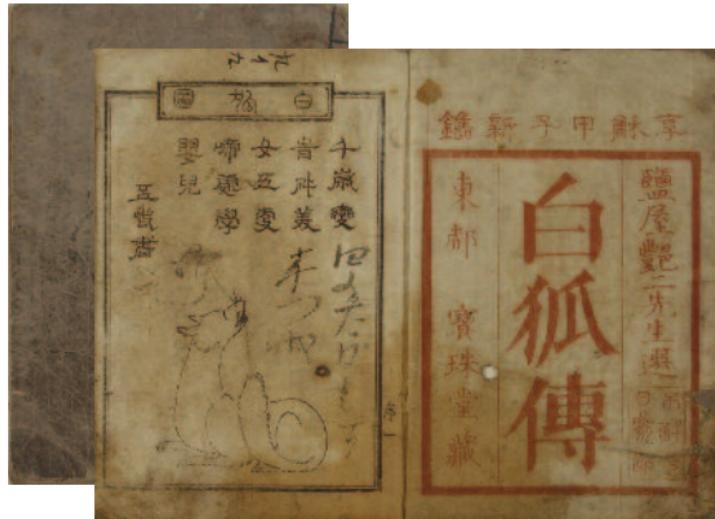
| 魚屋北溪画

簽欠 鹽屋艷二先生選  
東都 / 寶珠堂藏 染三

享和四年刊

中一冊 五四、〇〇〇

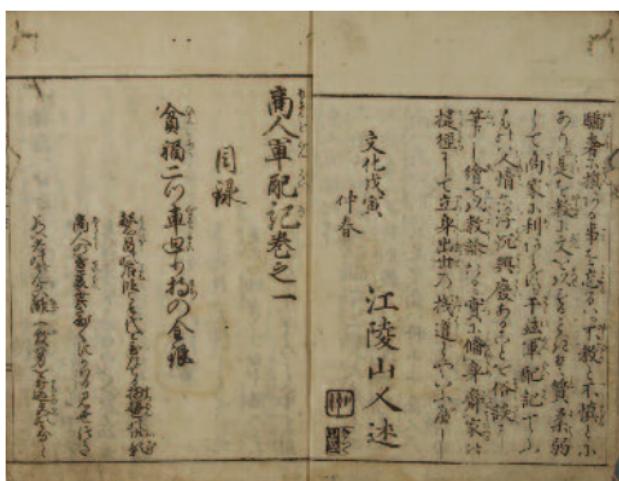
三三・三三頁參照

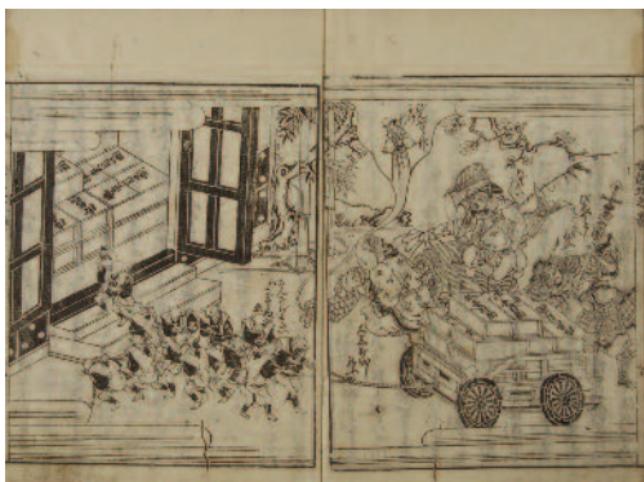
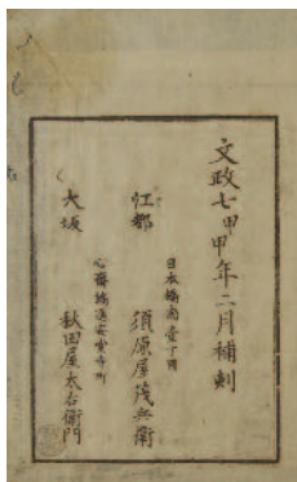
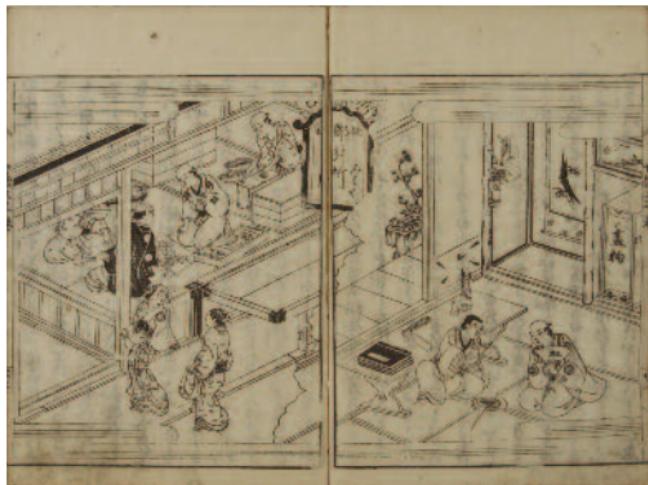




五

早出世商人軍配記 五卷 簡 文政七年二月補刻  
江陵山人述 卷一ノ卷首ノ柱ニ少虫





六 梅柳魁曾我・紋盡五人男 合綴 中村座

一 堺町沢村屋利兵衛正

中一冊 三二、四〇〇 文政八年



七

道歌砂の戯 簿欠 文政六年／是佛序 天保四年冬刊 中一冊 二七、〇〇〇  
—京寺町三条下ル／めとぎや宗八 裏紙古改装 少染ミ墨ツキ



八

三世相郎満八算

三卷合冊

南仙笑楚満人

寛政九刊

中一冊

三二、四〇〇

—黃表紙

版心

「三せさう」

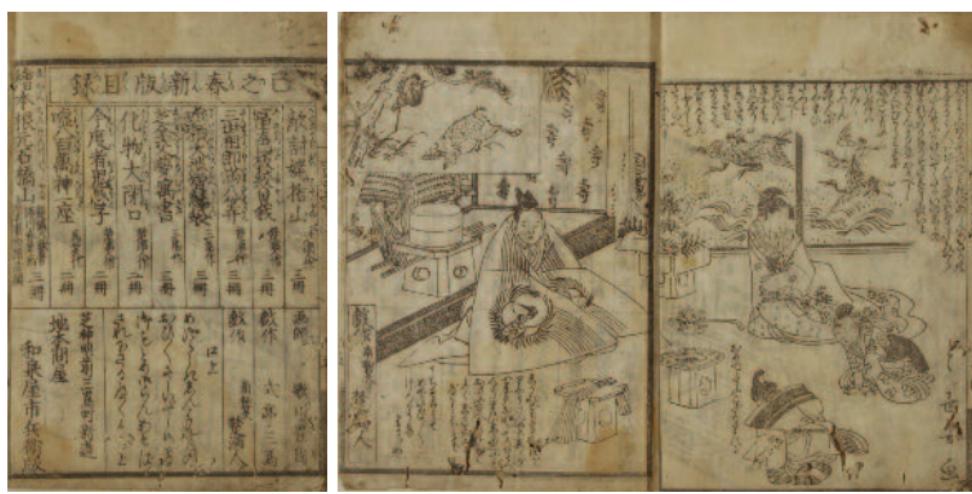
歌川豊國画

和泉屋市兵衛版

少虫

古改装





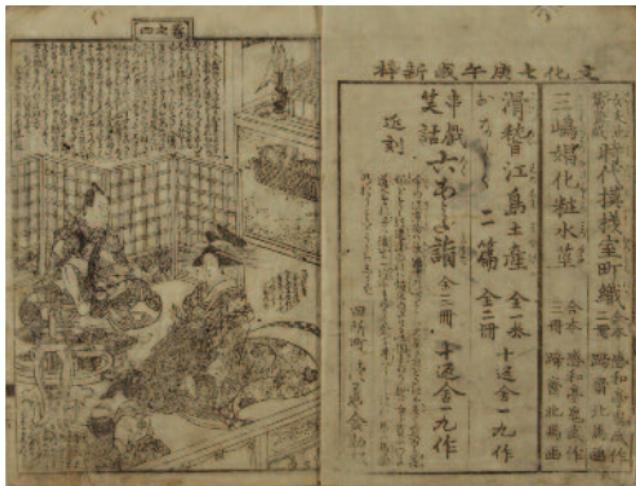
九

却説浮世之助話 前後編各三巻 簾欠 文化七年新梓 中二冊 五四、〇〇〇

— 土佐節の二河白道 豊後節の高尾懺悔 江戸／式亭三馬編

葛飾／歌川國貞画 田所町／つるや金助板 後編焦ヶ小穴有り





一〇

和合神所縁赤繩 前後編（五巻）文化一一刊

中二冊 一六、二〇〇

あづま与五郎

式亭三馬作

歌川美丸画

錦森堂梓

手擦レ破損アリ

前編裏紙欠 後編末欠丁



一 男達東鑑 全部五卷ノ内三卷（上帙） 文政四年新販 中一冊 二七、〇〇〇  
作者／向榮樓欣堂 画工／一圓齋國丸 春案軒／西宮新六版  
裏紙下方少欠損



二三 人形筆五色絲藏 上・下卷

(中卷欠) 文政九年春序刊  
柳亭種彦作

歌川國貞画

中二册 二七、〇〇〇  
山本榮久堂鑄

日本駄右衛門有馬の於藤

裏紙欠



三 義士銘々傳 上下巻 髪の寿々成誌  
一 猛齋芳虎画



天保一六年序刊 中二冊 二七、〇〇〇



一四 かちかち山 堤吉兵工編板 明治一九年八月二三日刊 極小一冊 三二、四〇〇



一五 小學女禮式 編輯出板人／堤吉兵衛

明治廿年二月刊 極小一冊 二七、〇〇〇



一六

おとぎばなし大博覽會美術館 森桂園 金港堂  
はなし猫の忠義 合羽摺 井上市松發行



一七

四六判 二六、二〇〇  
文庫判 二六、二〇〇

明 2936

一八

乾山遺墨

簽

尾形乾山画

酒井抱一編

無刊記

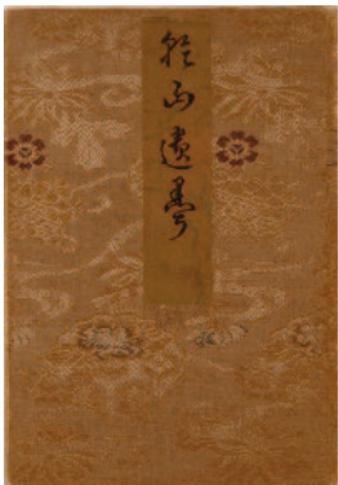
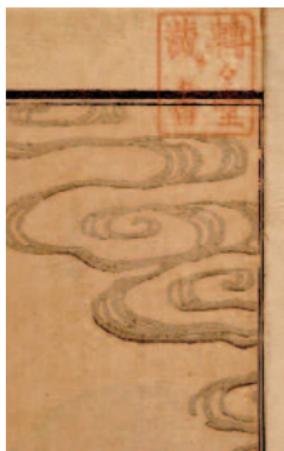
半一冊

一〇八、〇〇〇

江戸浅草／須原屋伊八／山崎屋清七 江戸版

「轉々堂／藏書」朱印。三世柳亭種彦ヲ名乗。タ明治初期ノ小説家高畠  
藍泉ノ舊藏本。早印良擗デ原装原題簽附傳本ダガ暫ク海外デ傳存シテイ  
タラシク元表紙ヲ備エタママ原装釘ノ上ニ美シイ古裂ヲ用イタ表紙ヲ被  
セテイル。

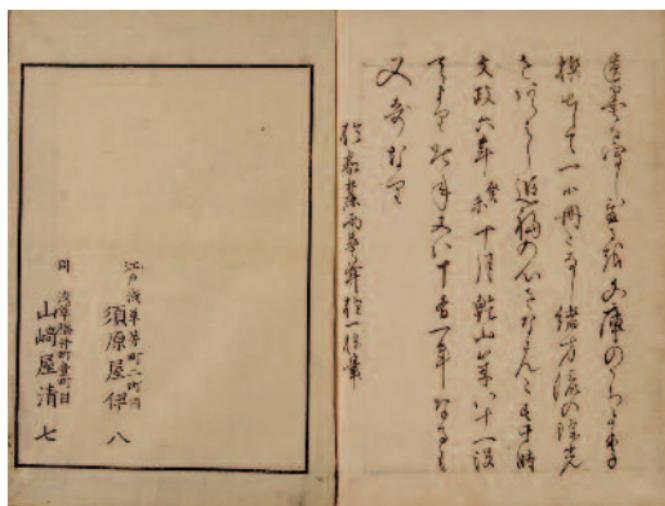
三四（三五頁参照）











一九

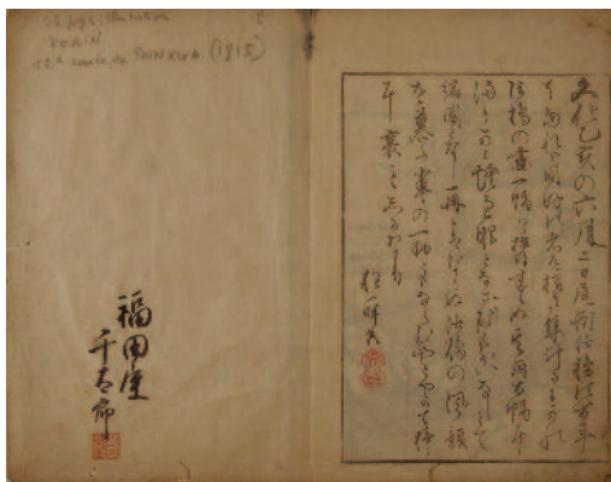
光琳百圖 下卷 簾

酒井抱一編跋 文化一二年刊

大一冊 一六、二〇〇

初板傳本ハ意外ニ希。裏紙欠。海外カラ里帰リ本。





二〇 古代肉筆美人画浮世繪幅  
一 近世中期寫 無落款

二三三×二九糀 軸長九六糀

一幅 八六、四〇〇  
二四頁參照





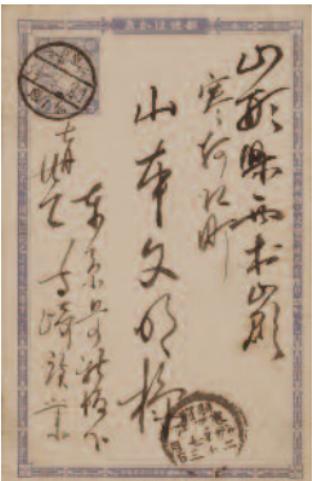
二

## 山本文明宛近代日本画家葉書

三〇枚一括 一六二、〇〇〇

明治前期ヨリ昭和初期マデニ活躍シタ日本ヲ代表スル画人ラニヨル葉書集。全テ山形縣西村山町寒河江ノ山本文明宛。

尾形月耕・久保田米僊・荒木十畝・寺崎廣業・兒玉果亭・松本楓湖・根本樵谷・熊谷直彦・今尾景年・野口小蘋・川端玉章・橋本雅邦・片倉白麟・村瀬玉田・戸田玉秀・眞野曉亭・森川曾文・望月金鳳・新井白雲・藤原白龍他。内賀状ガ七枚デ他ハ比較的長文葉書ナリ。二〇〇二三頁参照





二三

聖母子像・イエスキリスト像  
—古画油彩 キャンバス地マクリ

八二×五九

一枚 六四、八〇〇



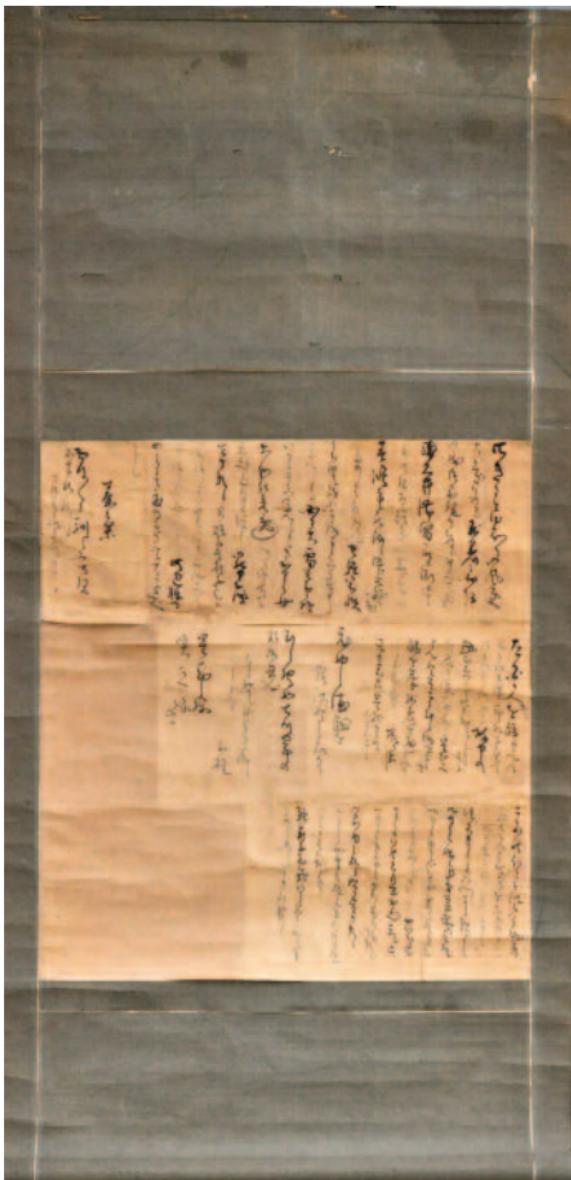


一一

加舍白雄書簡幅  
一四六×四二釐

軸長一〇〇釐

一幅五四、〇〇〇



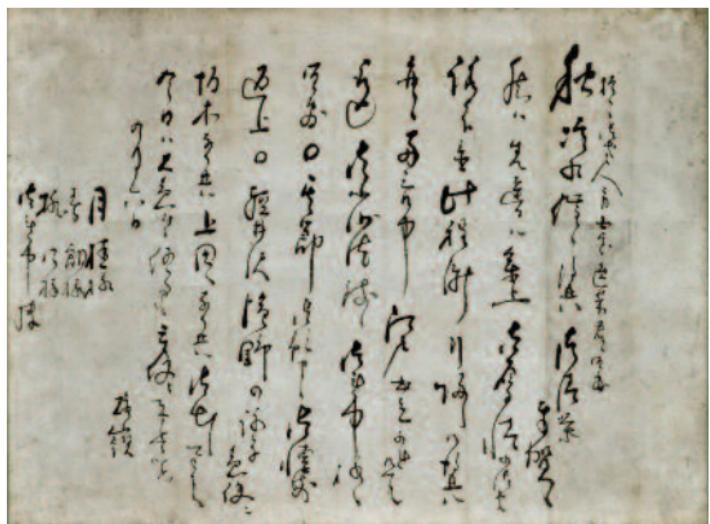


二四 小簾菴確嶺書簡幅

一輕井澤上田 二七×三六糪

軸長一一六糪

一幅 三一、四〇〇



二五 艷狂歌短冊（仮題）

天保弘化頃

七枚 三一、四〇〇

— 小短冊ニ木版春画ヲ描キ裏ニ狂歌ヲ添エタ珍奇ナ艶書  
一枚ノ大キサ一七・三×四・二糸



二六

入通俗民權百家傳 三卷

簽

薔薇樓藏梓

明 11

半三册

五四、〇〇〇

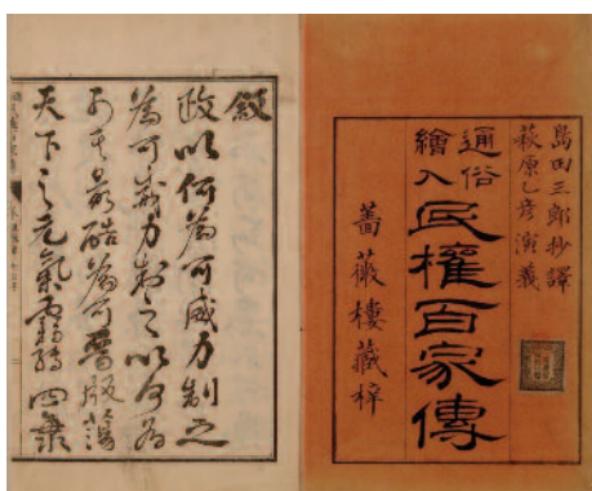
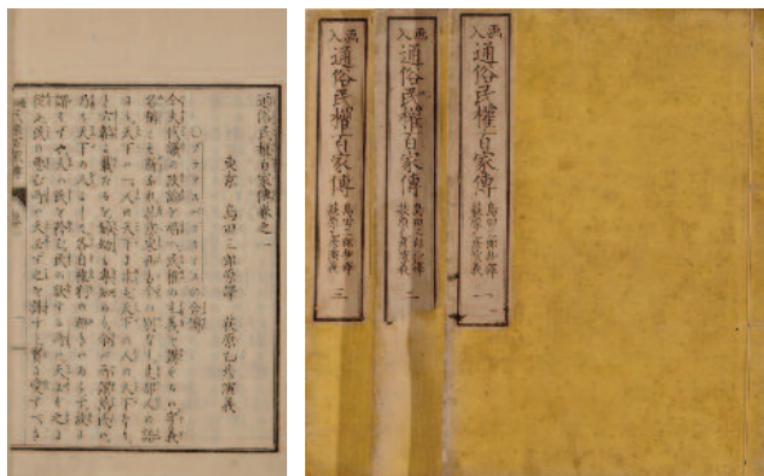
島田三郎抄譯

萩原乙彥演義

後藤象二郎序

肥塚流序

出版人／稻田佐吉





二七

新聞記者列傳 二篇

佐々木秀二郎著

明 13

四六判

二六、二〇〇

二八

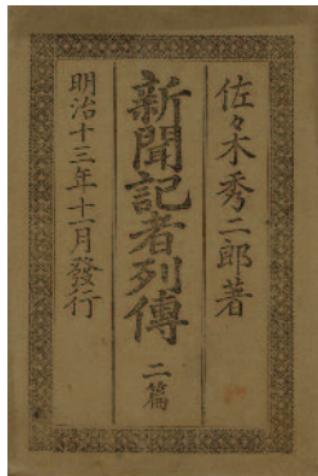
今昔實話 東都記録

碌々山人横田房吉識 岸田吟香君所贈書東寫

明 30

四六判

二六、二〇〇



二九  
奇談李鴻章  
夢能そら言

初版 早田玄洞著 大學館 明34  
鷗雨菴沙彌志るす 無刊 大正頃刊

四六判 五、四〇〇  
四六判 一〇、八〇〇



三一 通夜物語

再版 泉鏡花著 春陽堂 明34

菊判 二七、〇〇〇

一 口絵木版彩 (永濯画)

菊判 一〇、八〇〇

三二 風流京人形 再版 紅葉山人著 駿々堂發行 明30

背部上部少剥落

一 口繪木版彩

菊判 一〇、八〇〇



三三

四谷恠談 初版 春錦亭柳櫻口演  
一酒井昇造速記 口繪木版彩 桂舟画

一二三館 明 29

菊判

三七、八〇〇

